

ザイン・アッディーン・マアバリー・マリーバーリー著

『ポルトガル人の状況に関するジハード 戦士の贈り物』 訳注（2）

谷 口 淳 一

[9 (213)]

第1章 ジハードに関するいくつかの規定と報酬ならびにその奨励について¹⁾

以下のことを知れ。不信仰者 (kāfir) には二つの場合がある。一つは、彼らが彼らの地に留まっている場合である。その場合、ジハードは連帯義務 (fard kifāya) であり、彼ら (ジハードに参加できる者たち) のうちの誰かがそれを行えば、残りの者に対しては出撃が免除されるが、さもなくば、彼ら全員が罪を犯すことになる。二つ目は、我々のこの事例のように、不信仰者がムスリムの地へ入ってくる場合である。こうなると、ジハードは責任能力があり力のあるその地のムスリム全員に対する個人義務 (fard 'ayn) となる。たとえ、その者が奴隷、女、債務者²⁾、子で、その主人、夫、債権者、親の許可がないとしても〔個人義務を負う〕。なお、これは〔ジハードが必要な場所から〕礼拝短縮の距離³⁾以内にいる者に対する義務であるが、もしその範囲にいる者で十分でなければ、その距離以遠にいる者に対しても同様に義務となる。

1) 本稿は『ポルトガル人の状況に関するジハード戦士の贈り物』第1章のアラビア語原典からの日本語訳注である。原典と著者、訳注作成の方針などについては、「ジハード戦士の贈り物 (1)」および「谷口2012」を参照されたい。

2) 債務者 (madīn) : *Tuhfa/L* および C 写本 [p. 7] では *madanī* (都市住民) となっているが、B 写本 [f. 114b] に従う。

3) 著者は、ジハードの個人義務が適用される地理的な範囲を、旅人に礼拝短縮が認められる距離を基準にして、それ以内の範囲にいる者とそれより遠くにいる者に分けて論じている。一定の距離を旅する者には夜明けと夜半以外の礼拝を短縮して行うことが許されており、その距離を礼拝短縮の距離 (*masāfat al-qasr*) という。その距離については諸説あり、著者ザイン・アッディーンが属したシャーフィイー派では16ファルサフ (約80km) とされている [“*Ṣalāt (IV-F. Prayer on a journey)*,” EI 2]。

ジハードのアミールには、以下のことが委任される。ジハードの件について、部下と相談し、彼らを部隊ごとに配置する。戦利品 (ganīma) を獲得した場合は、それを集めることを命じ、殺害された〔不信仰〕者から直接奪ったもの (salab) は、彼を殺害した者に与える。すなわち、その不信仰者が身に着けていた衣服、靴、帯、携行袋 (himyān) とその中にある現金 (nafaqa)、腕輪、武器、[10 (212)] 彼の乗用獣、その鞍、馬勒である。

その後、戦利品を五等分する。その一つはさらに五等分される。その一つは、辺境の防衛、砦や石橋、マシジドの整備、カーディーとイマームの手当などムスリムの公益に割り当てられる。もう一つは、預言者—神が彼に祝福と平安を与えんことを—の一族であるハーシム家 (Banū Hāsim) とムッタリブ家 (Banū al-Muṭṭalib) に割り当てられる。もう一つは、孤児たちに割り当てられる。もう一つは困窮者 (miskīn) に割り当てられるが、そこには貧者 (faqīr) が含まれる。もう一つは、旅人に割り当てられる。

〔以上の〕残りである五分の四は、戦利品受領資格者 (gānim) たち、すなわちその戦争の戦闘に完全に参加した者に割り当てられる⁴⁾。また、ジハードのアミールは、ジハードを行う者に、神からの支援の祈願と嘆願を命ずる。また、ジハードを開始する前に、至高なる神への畏れと信頼が先立つようにせよ。神は、成功を与える方である。また、各人が戦利品について不正を為さぬよう気をつけさせよ。その不正に対しては、激しい脅迫が返されることになる。

明白なことであるが、マラバルのムスリムには、勇気があり彼らを治め福利を維持するアミールがおらず、むしろ彼らは皆、不信仰者に服従する臣民である。それにもかかわらず、彼らは当初から、ムスリムを愛するザモリンの援助と財貨の支出を得て、能う限りポルトガル人たちに対してジハードを行い、ジハードのために財貨を費やしてきた。しかし、結局のところ、ムスリムたちの商売が途絶し、彼ら自身が傷つき、彼らの故郷 (diyār) と財貨が損害を受けて、ムスリムたちは弱体化してしまった。このようなことが幾度も繰り返され、ついに彼らの弱体化がひどくなり、彼らの貧困と欠乏が激しくなり、[11 (211)] ムスリムたち

4) 動産の戦利品の分配については、『統治の諸規則』337-343頁を参照。

は弱り切ってしまったのである。

ムスリムのスルターンやアミールたち——神が彼らの支援者たちを強めんことを——は、彼らにジハードの義務があるにもかかわらず、マラバルのムスリムたちの状況に関心を示さなかった。スルターンの位にある者——至高なる神が彼らを支援せんことを——でポルトガル人に対するジハードを遂行するために、財貨を支出し、ポルトガル人どもと戦ってマラバル地方から追い出し、彼らが占拠し支配した諸港を取り戻すのにふさわしい装備を用意する者は、神意にかなう (muwāfaq) 幸福な者である。彼は、神の許しを得て、義務として課されたことを実行し⁵⁾、他の者たちにかかる出撃〔の義務〕を免除し、数え切れない多くの報酬と東西の民からの驚くべき美しい称讃〔の獲得〕を許され、神とその天使たち、預言者たち、使徒たち⁶⁾を満足させ、神の僕である正しき者、弱き者、貧者、困窮者たちの真正な祈願⁷⁾を得る者となる。さらに、この者には、ジハードを実行することと神の道〔のための戦い〕に財貨を支出することに対する報酬に加えて、これらの虐げられた者たちの苦悩を取り除くことに対する報酬がある。預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「ある信徒からこの世の〔苦悩の〕⁸⁾一つを取り除いた者は、神がその者から最後の審判の日の苦悩の一つを取り除いてくださる」。

これはムスリム〔・ブン・アルハッジージュ〕⁹⁾が伝えている¹⁰⁾。

一人の信徒から〔12 (210)〕たとえ些細なものであっても一つの苦悩を取り除いた者についてこのようであるのならば、数え切れない虐げられた者たちから、神の道のためのジハードによって多くの大きな苦悩を

5) 実行し： *Tuḥfa/L* と C 写本 [p. 9] では mu'addib (躰ける者) と綴られているが、B 写本 [f. 115b] に従い mu'addiy [-an] (実行する者) と読む。

6) 〔神の〕使徒たち (rusul-hu)：B 写本 [f. 115b] では awliyā'-hu (神に近侍する者たち) となっている。

7) 真正な祈願 (al-du'ā' al-ṣāliḥ)： *Tuḥfa/L* と C 写本 [p. 9] では al-du'ā' wa-al-maṣāliḥ (祈願と公益) となっているが、B 写本 [f. 115b] に従う。

8) この世の苦悩 (kurab al-dunyā')： *Tuḥfa/L* では kurab が欠落している。B 写本 [f. 115b]、C 写本 [p. 10] より補った。

9) Abū al-Ḥusayn Muslim b. al-Ḥaḡḡāḡ al-Quṣayrī. ハディース学者。彼が編纂した『サヒーフ』はハディース集「六書」の一つとされる。261 [875] 年没 [“Muslim b. al-Hadjjādj,” EI 2]。

10) *Muslim*: v. 4, p. 2074 (no. 2699)；ムスリム：3巻607頁。

取り除いた者の状況はどのようなであろうか。その報酬は、称えられるべき至高なる神だけが数えるのである。称えられるべき至高なる神は、虐げられた者たちを救済するためのジハードについて特に言及している¹¹⁾。

「なぜ汝らは、神の道のために、虐げられた男たち、女たち、子供たちのために戦わないのか」[クルアーン：4章75節]。

ジハードを行うことと砦に拠って戦うこと (murābāṭa)、またそれらのために財貨を支出すること、そして殉教することの徳については、多くのクルアーンの句やハディースが語っている。称えられるべき至高なる神は、次のように語っている。

戦うことは、汝らにとっては嫌なものであろうが、義務として定められている。汝らは、自分たちにとって良いことを嫌うかもしれないし、自分たちにとって悪いことを好むかもしれない。神は御存じだが、汝らは知らないのだ [クルアーン：2章216節]。

まことに神は、樂園と引き換えに、信徒たちからその生命と財貨を買われたのである。彼らは、神の道のために戦い、殺し殺されている。これは、律法、福音、クルアーンにある神の確かな約束である。神よりも忠実に契約を果たす者が、ほかに誰かだろうか。されば、汝らが神と交わした売買契約について喜ぶがよい。それは、大きな利得である [クルアーン：9章111節]。

神の道〔のための戦い〕に自分の財貨を費やす者たちの譬えは、一つの穀粒が七つの穂に育ち、それぞれの穂に100の穀粒ができるという譬えの如くである。〔神は〕¹²⁾、御心にかなう者には何倍にも報いてくださる。神は、広大無限にて全知である [クルアーン：2章261節]。

神の道のために〔戦って〕殺された者たちを [13 (209)] 死んでしまったとはけっして考えるな。いな、彼らは主の許で、神がお与えになった恩徳に満悦しつつ、扶助を受けて生きているのだ。自分たちとともに死ななかった後続の者について、彼らは喜んでいる。その者たちには、恐れることはなく、悲しむこともないのだから [ク

11) 特に言及している (aḥaṣṣa ... 'alā) : Nainar は “has urged on” と訳している [Tuhfa_trans/N I : p. 23]。

12) 神は (wa-Allāh) : Tuhfa/L では欠落しているが、B写本 [f. 116b], C写本 [p. 11] より補う。

ルアーン：3章169-170節]。

ブハーリー¹³⁾とムスリムは、それぞれの『サヒーフ』において、アブー・フライラ¹⁴⁾——神が彼に満足せんことを——に依拠して以下のよう
に伝えている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は「どの行為がもっとも徳が高いのでしょうか」と問われると、「神とその使徒たちへの信仰である」と答えた。

「その次は何でしょうか」と問われると、「神の道のためのジハードである」と答えた。

「その次は何でしょうか」と問われると、「有効な大巡礼 (hağğ) である」と答えた¹⁵⁾。

また両書では、アブー・フライラに依拠して、以下のよう
に伝えられている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——が次のように語った。

「神は、彼への信仰¹⁶⁾とその使徒たちへの確信のみゆえに神の道のために出撃する者に対して、彼が得た報酬や戦利品をもって¹⁷⁾帰還させるか、彼を楽園に迎えるかいずれかをお許しになった」¹⁸⁾。

また、アブー・フライラに依拠して、以下のよう
に伝えられている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——が次のように語った。

「私の命を手中に収めている御方にかけて、信徒の一部の男たち

13) Abū 'Abd Allāh Muḥammad b. Ismā'īl al-Buḥārī. ハディース学者。彼が編纂した『サヒーフ』はハディース集「六書」の一つとされる。256 [870] 年没 [“al-Bukhārī, Muḥammad b. Ismā'īl,” EI 2]。

14) Abū Hurayra. 非常に多くのハディースの典拠とされる教友。58 [677/78] または59 [678/679] 年没 [“Abū Hurayra,” EI 2]。

15) *Buḥārī*: v. 2, p. 638 (no. 1419) ; *Muslim*: v. 1, p. 88 (no. 83) ; ブハーリー：上巻408頁；ムスリム：1巻70頁。

16) 信仰 (īmān) : *Tuḥfa/L* とB写本 [f. 116b] ではyamān (イエメンの) と綴られているが、C写本 [p. 11] に従って読む。

17) 彼が得た報酬や戦利品をもって (bi-mā nāla min aḡr-in aw ḡanīmat-in) : 当該部分は、*Tuḥfa/L* のテキストが崩れており、意味が通らない。B写本 [f. 116b]、C写本 [p. 11] も同様であるため、ハディース原文に従って解釈した。

18) *Buḥārī*: v. 1, pp. 81-82 (no. 35) ; ブハーリー：上巻30頁。

が¹⁹⁾ 私の〔出撃した〕後に居残った場合、彼らはそのことを快く思わないだろう。しかし、私には彼ら〔全員〕を〔戦場へ〕運ぶ手段がない。もしもこのようであれば、私とて神の道のために異教徒に対する襲撃 (gazw) を行う遠征部隊の後に居残りはしないであろう。私の命を手中に収めている御方にかけて、私は、神の道のために殺され、そして蘇らされ、また殺され、蘇らされ、また殺され、蘇らされ、また殺されることを望んできたのだ²⁰⁾。

また、アブー・フライラに依拠して、以下のように伝えられている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——が次のように語った。

「神の道のためにジハードを行う者に比肩し得る者は、断食を行い、〔義務を〕実行し、神の徴²¹⁾に従う者で、[14 (208)] 神の道のためにジハードを行う者が帰還するまで断食と礼拝をおろそかにしない²²⁾ ような者である²³⁾。

また、アブー・フライラに依拠して、以下のように伝えられている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——が次のように語った。

「神は、神の道のために〔戦って〕傷ついた者をもっともよく知っておられる。神の道のために〔戦って〕傷ついた者は、一人残らず最後の審判の日に傷口から血を流して現れるが、その血は、色は血の色をしているが、香りは麝香の香りである²⁴⁾。

アナス²⁵⁾に依拠して、以下のように伝えられている。

〔神の〕²⁶⁾使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次の

19) 男たち (riḡāl) : *Tuhfa/L* および B 写本 [f. 116b], C 写本 [p. 11] では raḡl (一人の男) となっているが、ハディース原文に従う。

20) *Buḥārī*. v. 4, p. 410 (no. 992) ; プハーリー : 中巻28-29頁。

21) 神の徴 (āyāt Allāh) : 「クルアーンの句」を意味する表現。

22) おろそかにしない (lā yafturu) : *Tuhfa/L* では lā niyata-hu (彼には意志がない) と読んでいるが、これでは意味が通らない。B 写本 [f. 117a], C 写本 [p. 12] の当該部分も意味不明であるため、ハディース原文に従う。

23) *Muslim*: v. 3, p. 1498 (no. 1878) ; ムスリム : 3巻43頁。

24) *Muslim*: v. 3, p. 1496 (no. 1876) ; ムスリム : 3巻41-42頁。

25) Anas b. Mālik. 多くのハディースを伝えた教友。91-93 [709-712] 年頃没 ["Anas b. Mālik," EI 2]。

26) 神の (Allāh) : *Tuhfa/L* では欠落。B 写本 [f. 117a], C 写本 [p. 12] によって補う。

ように語った。

「神の道のため〔の戦い〕に勤しむ一朝または²⁷⁾一夕は、この世とそこにあるものに優る」²⁸⁾。

また、アナスに依拠して、以下のように伝えられている。

預言者は——神が彼に祝福と平安を与えんことを——次のように語った。

「楽園に入る者は、下界に何がしかのものをもっていても、誰一人としてこの世へ戻ることを望まない。しかし殉教者はこの世に戻り、10回殺され〔殉教す〕ることを望む。というのも、彼はその恩典を知っているからである」²⁹⁾。

ジャービル³⁰⁾——神が彼に満足せんことを——に依拠して、以下のように伝えられている。

ウフドの戦い³¹⁾において、ある男が預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——に言った。

「私が殺されたら、いったいどこへ行くのか、御存じですか」。

預言者が「楽園だ」と答えると、その男は手にしていた棗椰子の実を放り出して戦い、ついに殺されてしまった³²⁾。

サフル・ブン・サアド³³⁾に依拠して、以下のように伝えられている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「神の道のため〔の戦い〕に1日でも任務に就くことは、この世とそこにあるものに優る」³⁴⁾。

27) または (aw) : *Tuhfa/L* および B 写本 [f. 117a]、C 写本 [p. 12] では、いずれも wa (と) という接続詞が用いられているが、ハディース原文に従う。

28) *Buḥārī*: v. 4, p. 409 (no. 988) ; *Muslim*: v. 3, p. 1499 (no. 1880) ; プハーリー : 中巻28頁 ; ムスリム : 3巻44頁。

29) *Buḥārī*: v. 4, pp. 416 - 417 (no. 1010) ; プハーリー : 中巻35頁。

30) Ġābir. 教友には複数の同名者があり、この人物がどのジャービルであるかは不詳である。

31) Yawm Uḥd. 3 または 4 [625/626] 年にメディナ北郊で行われたムスリム軍とメッカ軍の戦い。ムスリム側は苦戦し、多くの死傷者を出した [“Uḥd,” EI 2]。

32) *Muslim*: v. 3, p. 1509 (no. 1899) ; ムスリム : 3巻53頁。

33) Sahl b. Sa'd b. Mālik al-Sā'idī. メディナで没した最後の教友とされる。91 [709/10] 年没 [*Wāḥī*: v. 16, pp. 11 - 12]。

34) *Buḥārī*: v. 4, p. 440 (no. 1083) ; プハーリー : 中巻51頁。

アブー・ムーサー³⁵⁾に依拠して、以下のように伝えられている。

一人の男が神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——の許へ来て言った。

「ある男は戦利品のために戦い、別の男は名声のために戦い、また別の男は自分の地位が考慮されるために戦っています。神の道にあるのは誰でしょうか」。

預言者は言った。

「神の言葉が最高のものとなるために戦った者こそが、神の道にある」³⁶⁾。

アブー・サイド・フドリー³⁷⁾に依拠して、以下のように伝えられている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「人々のうちでもっとも徳が高いのは、神の道のために自分自身と自分の財貨でもってジハードを行う信徒である」³⁸⁾。

ブハーリーは、アブー・フライラに依拠して、神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——が次のように語ったと伝えている。[15 (207)]

楽園には、神の道のためにジハードを行う者たちのために神が用意した100の位階があり、その一つ一つの差は天と地の間ほどもある。したがって、汝らが神に求めるならば、フィルダウス³⁹⁾を求めよ。それは、楽園の中央で、楽園のもっとも高い所で、その上には慈愛あまねき御方の玉座があり、そこから楽園の河川が流れ出しているのだ⁴⁰⁾。

35) Abū Mūsā 'Abd Allāh b. Qays al-Aṣ'arī. 教友。スィッフイーンの戦い (37 [657] 年) でアリー側の一員として調停交渉に臨んだことで知られる。40 [660] 年に降没 [“al-Ash'arī, Abū Mūsā,” EI 2]。

36) *Buḥārī*: v. 4, p. 414 (no. 1003) ; ブハーリー : 中巻32-33頁。

37) Abū Sa'īd al-Ḥudrī, Sa'd b. Mālik al-Ḥazraḡī. ハディースを多く伝えたアンサール。一説に74 [693/94] 年没 [*Wāḥī*: v. 15, p. 148]。 *Tuḥfa/L*におけるこの人物のニスパの綴りをB写本 [f. 117b]、C写本 [p. 13] に従って修正した。

38) *Buḥārī*: v. 4, p. 407 (no. 983) ; ブハーリー : 中巻26頁。

39) フィルダウス (firdaws) : イスラームが示す天国は複数の園に分かれている。フィルダウス (パラダイス) は、そのうちの一つ [「楽園」『岩波イスラーム辞典』]。

40) *Buḥārī*: v. 4, pp. 408-409 (no. 986) ; ブハーリー : 中巻27頁。

アブー・アブス⁴¹⁾に依拠して、以下のように伝えられている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「神の道のために〔戦って〕信徒の両足が土埃で汚れなかった⁴²⁾ならば、火獄の炎がその者に襲いかかる」⁴³⁾。

アブー・カイス⁴⁴⁾よると、彼はサアド⁴⁵⁾が次のように語るのを聞いた。

私は、神の道のために〔矢を〕射った最初のアラブであるぞ。我々は、神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——と共に異教徒に対する襲撃を行っていたが、我々には木の葉しか食べ物がない。それは、ラクダや羊が混ざりもののあるもの⁴⁶⁾を出すように、我々の一人が〔同じような糞を〕出すほどであった⁴⁷⁾。

アブー・フライラ——神が彼に満足せんことを——に依拠して、以下のように伝えられている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「神を信じ、神の約束を信頼して、馬を神の道のため〔の戦い〕に捧げる者は、最後の審判の日に、その馬の食べたもの、飲んだものの (rubb)、糞が彼の秤の上に載せられる」⁴⁸⁾。

ムスリムは、アブー・フライラに依拠して、以下のように伝えている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「異教徒に対する襲撃を行わず、それについて何も語らず没した

41) Abū 'Abs. 不詳。Tuḥfa/LはAbū 'Abbāsとしているが、B写本 [f. 117b]、C写本 [p. 13] に従い修正した。

42) 土埃で汚れた (igbarrat) : Tuḥfa/Lの誤植を写本B [f. 117b] によって修正した。

43) Buḥārī: v. 4, p. 415 (no. 1004) ; プハーリー : 中巻33頁。邦訳は「アッラーの道において泥にまみれた足は、地獄の火に炙られることはない」となっている。

44) Abū Qays. 不詳。ハディース原文では、Abūの語はなくQaysとだけある。

45) Sa'd b. Abī Waqqās. イラク征服に活躍した教友。50 - 58 [670 - 678] 年頃没 ["Sa'd b. Abī Waqqās," EI 2] 。

46) 混ざりもののあるもの (mā la-hu ḥalt-un) : 葉の混じった糞のことか。

47) Buḥārī: v. 5, p. 86 (no. 244) ; プハーリー : 中巻288頁。

48) Buḥārī: v. 4, p. 427 (no. 1046) ; プハーリー : 中巻42 - 43頁。

者は、偽善の罪を犯して没したことになる」⁴⁹⁾。

また、アブー・フライラに依拠して、以下のように伝えられている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「不信仰者と彼を殺害する者は、火獄の中で出会うことはない」⁵⁰⁾。

また、アブー・フライラに依拠して、預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——が次のように語ったと伝えられている。

人々の中でもっとも良い生き方をする者とは、神の道のために馬の背に乗って駆けつけるべくその手綱を握り〔備えており〕、恐怖におののく声を聞きつけるときは何時でも、殉教を時機を得たものとして望んで駆けつける男である。または、[16 (206)] この山の頂かこの谷の底で羊の小さな群れ (ḡunayma) と共にいて、死が訪れるまで、礼拝を行い、喜捨を施し、主を崇める男である。このような人は、必ずや善の中にいる⁵¹⁾。

ジャービル・ブン・サムラ⁵²⁾に依拠して、以下のように伝えられている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「この宗教は絶えることなく存立し、ムスリムの一団は、最後の審判の時が来るまでその宗教に則って戦い続ける」⁵³⁾。

サルマーン・ファーリスィー⁵⁴⁾によると、彼は神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——が次のように語るのを聞いた。

一昼夜若で〔警戒に当たる〕ことは、1ヶ月断食を行い〔礼拝を〕実行することに優る。もし〔警戒中に〕死亡したなら、彼が行ってきた行為はそのことに基づいて評価され、〔天国における〕糧が与

49) *Muslim*: v. 3, p. 1517 (no. 1910) ; ムスリム : 3 巻60頁。

50) *Muslim*: v. 3, p. 1505 (no. 1891) ; ムスリム : 3 巻49頁。

51) *Muslim*: v. 3, pp. 1503–1504 (no. 1889) ; ムスリム : 3 巻48頁。

52) Ḡābir b. Samura. Sa'd b. Abī Waqqāṣの甥。クーファにて66 [685/86] または74 [693/94] 年に没 [*Wāḡḡ*: v. 11, p. 27] 。

53) *Muslim*: v. 3, p. 1524 (no. 1922) ; ムスリム : 3 巻66頁。

54) Salmān al-Fārisī. イラン出身の教友。35 [655/66] または36 [656/57] 年没 ["Salmān al-Fārisī," EI 2] 。

えられ、墓での尋問 (fattān) を免れるのである⁵⁵⁾。

ウクバ・ブン・アーミル⁵⁶⁾によると、彼は神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——が説教壇 (minbar) の上で次のように語るのを聞いた。

「彼らのために可能な限り戦力を準備せよ。戦力とは弓術⁵⁷⁾なり。戦力とは弓術なり。戦力とは弓術なり」⁵⁸⁾。

また、ウクバ・ブン・アーミルによると、彼は神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——が次のように語るのを聞いた。

「弓術を身に付けておきながら、その後それを放棄した者は、我らの仲間ではない」⁵⁹⁾。

アブー・マスウード・アンサーリー⁶⁰⁾に依拠して、以下のように伝えられている。

ある男が端綱を付けた雌ラクダを連れてきて「これを、神の道のため〔の戦い〕に〔提供します〕」と言ったところ、神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように言った。

「このラクダゆえに、最後の審判の日には、端綱が付けられた700頭の雌ラクダが汝のものになる」⁶¹⁾。

マスルーク⁶²⁾によると、彼らはアブド・アッラー・ブン・マスウード⁶³⁾に、クルアーンの以下の一節「神の道のために〔戦って〕殺された者たちを死んでしまったとはけっして考えるな。いな、〔17 (205)] 彼らは主の許で、神がお与えになった恩徳に満悦しつつ、扶助を受けて生

55) *Muslim*: v. 3, p. 1520 (no. 1913) ; ムスリム : 3 巻63頁。

56) 'Uqba b. 'Āmir, Abū Gihād al-Ġuhanī. 教友。ムアウイヤ1世によってエジプト総督に任じられた。58 [677/78] 年没 [*Wāfi*: v. 20, p. 240]。

57) 弓術 (ramy) : *Tuhfa/L* では rāmī (射手) となっているが、B写本 [f. 118b]、C写本 [p. 15] およびハディース原文に従って読む。以下同じ。

58) *Muslim*: v. 3, p. 1522 (no. 1917) ; ムスリム : 3 巻64頁。

59) *Muslim*: v. 3, pp. 1522–1523 (no. 1919) ; ムスリム : 3 巻65頁。

60) Abū Mas'ūd al-Anṣārī, 'Uqba b. 'Amr al-Badrī. 教友。41 [661/62] または42 [662/63] 年没 [*Wāfi*: v. 20, p. 239]。

61) *Muslim*: v. 3, p. 1505 (no. 1892) ; ムスリム : 3 巻50頁。

62) Masrūq. 不詳。

63) 'Abd Allāh Ibn Mas'ūd. ムハンマドから直接教えを受けた教友の一人で、クルアーンに関して豊富な知識を持っていたことで知られる。32 [652/53] 年頃没 ["Ibn Mas'ūd," EI 2]。

きているのだ。云々」[クルアーン：3章169節]について尋ねた。すると、イブン・マスウードは次のように語った。

我々がそれについて尋ねると、〔預言者は〕次のように語った。

「彼らの魂は緑色の鳥の中に宿り、その鳥たちのために玉座から吊り下げられた燭台がある。鳥となった魂は、望むままに楽国を飛び回り、またこれらの燭台に戻って休む。

主がふと彼らに目を止めて『汝ら、何か望むことはあるか』と言うと、彼らは『私たちが何を望むというのでしょうか。私たちは望むままに楽園を飛び回ることができるのです』と答えた。しかし、主は彼らに3度このように問いかけた。そこで、彼らは何かを求めないわけにはいかないと悟り、『おお主よ。私たちは、もう一度あなたの道のために〔戦って〕殺されるように、我々の魂を肉体へ戻して下さることを欲します』と言った。

そこで神は彼らに望むものがないと知り、彼らはそのままとされたのである」⁶⁴⁾。

アブド・アッラー・ブン・アムル・ブン・アルアース⁶⁵⁾に依拠して、以下のように伝えられている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「神の道のために〔戦って〕殺されることは、〔人と人のおける〕負債以外のあらゆるものを免責する」⁶⁶⁾。

アナスに依拠して、以下のように伝えられている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——と教友たちは急いで行き、ついに多神教徒(mušrik)どもに先んじてバドルへ到着し、そこへ多神教徒どもがやって来た。

そのとき、神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——が「汝ら楽園へ赴け。その広さは、天と大地〔を合わせた広さ〕であるぞ」と言った。すると、ウマイル・ブン・アルハンマーム⁶⁷⁾が

64) *Mustim*: v. 3, pp. 1502–1503 (no. 1887) ; ムスリム : 3巻47頁。

65) 'Abd Allāh b. 'Amr b. al-Āṣ. 教友。父はエジプト征服を指揮した軍人。68 [687/88] または69 [688/89] 年没 [ECH: 2–3]。

66) *Mustim*: v. 3, p. 1502 (no. 1886) ; ムスリム : 3巻46頁。

67) 'Umayr b. al-Ḥammām al-Anṣārī al-Sulamī. 2 [624] 年、バドルの戦いで戦死

「素晴らしい。素晴らしい」と言った。そこで、神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は「なぜ『素晴らしい。素晴らしい』と言ったのか」と尋ねた。ウマイルは「〔神かけて〕⁶⁸⁾、神の使徒よ、私が楽園の民の一員になるという期待に以外に〔理由は〕ありません」と答えた。預言者は「ならば汝はその一員である」と言った。

すると、ウマイルは矢筒 (qarn) から幾つかの棗椰子の実を取り出し、それを食べ始めた。しばらくして彼は、「この棗椰子の実を食べ終えるまで生きていたとしたら、それは長生き〔し過ぎ〕だ」と言って、持っていた棗椰子の実を放り出した。[18 (204)] そして彼は多神教徒どもと戦い、ついに殺されたのである⁶⁹⁾。

ティルミズィー⁷⁰⁾とアブー・ダーウード⁷¹⁾は、ファダーラ・ブン・ウバイド⁷²⁾に依拠して、以下のように伝えている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「死んだ者は皆、〔その時点で〕その行為は終わりとなるが、神の道のために砦に拠って戦いながら死んだ者は別である。その者については、その行為は最後の審判の日まで増やされていき⁷³⁾、墓での試練は免除される」⁷⁴⁾。

した教友の一人。殉教した最初のアンサールと言われる [Wāḥī: v. 23, pp. 352–353]。

- 68) 神かけて (wa-Allāh) : *Tuḥfa/L* と C 写本 [p. 16] では欠落。B 写本 [f. 119a] より補った。
- 69) *Muslim*: v. 3, pp. 1509–1511 (no. 1901) ; ムスリム : 3 卷 53–54 頁。 *Tuḥfa* による引用は不完全であるが、欠落箇所は多数に及ぶため、逐一指摘しない。
- 70) al-Tirmidī, Abū ‘Īsā Muḥammad b. ‘Īsā. ハディース学者。彼が編纂した『スナン』 (*al-Ġāmi’ al-kabīr*) はハディース集「六書」の一つとされる。279 [892] 年没 [“al-Tirmidhī,” EI 2]。
- 71) Abū Dā’ūd Sulaymān b. Aṣ’at. ハディース学者。彼が編纂した『スナン』はハディース集「六書」の一つとされる。275 [889] 年没 [“Abū Dā’ūd al-Sidjīstānī,” EI 2]。
- 72) Faḍāla b. ‘Ubayd al-Anṣārī. 教友。ウフドの戦いを体験した。53 [672/73] 年没 [Wāḥī: v. 24, p. 16]。
- 73) 増やされていき : *Tuḥfa/L* では y.n.w.l.h、B 写本 [f. 119a]、C 写本 [p. 17] でも類似の綴りとなっているが、文脈に合う解釈が難しい。ハディース原文に従い yunmā la-hu (彼のために増やされる) と読む。
- 74) *Tirmidī*: v. 3, pp. 264–265 (no. 1621) ; *Abū Dā’ūd*: v. 4, p. 155 (no. 2500)。

アブー・ダーウードがアブー・ウマーマ⁷⁵⁾に依拠して、以下のように伝えている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「異教徒に対する襲撃に参加しないうえに、襲撃に参加する戦士のために供出することも戦士の代わりに彼の家族によくしてやることもない者は、最後の審判の日より前に、神がその者に災難を与える」⁷⁶⁾。

イムラーン・ブン・フサイン⁷⁷⁾に依拠して、以下のように伝えられている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「我がウンマの各集団は〔イスラームの〕真理に基づいて戦い続け、敵対する者どもにうち勝ち続ける。最後の者が偽救世主ダッジャール (al-Maṣīḥ al-Daġġāl) と戦うまで」⁷⁸⁾。

ティルミズィーは、イブン・アッバース⁷⁹⁾に依拠して、以下のように伝えている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「火獄の炎が襲いかかることのない二つの目とは、神を畏れて泣く目と、神の道のために不寝番をする目である」⁸⁰⁾。

アブー・フライラに依拠して、以下のように伝えられている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——の教友である男が、山道を通ったところ、そこに甘い水の小さな泉があった。

75) Abū Umāma, As'ad b. Sahl al-Anṣārī. ムハンマドの最晩年に生まれたメディナの教友。父などから聞いたハディースを伝えた。100 [718/19] または 101 [719/20] 年没 [Wāḥī: v. 9, pp. 27–28]。

76) *Abū Dā'ūd*: v. 4, p. 158 (no. 2503).

77) 'Imrān b. Ḥuṣayn al-Ḥuzā'ī. 教友。ムハンマドによる異教徒に対する襲撃に加わった。52 [672] または 53 [672/73] 年没 [Wāḥī: v. 23, pp. 326–327]。

78) *Abū Dā'ūd*: v. 4, p. 141 (no. 2484).

79) Ibn 'Abbās, 'Abd Allāh. ムハンマドの従兄弟。68 [687/88] 年没 [“'Abd Allāh b. al-'Abbās,” EI 2]。

80) *Tirmidī*: v. 3, pp. 276–277 (no. 1639).

彼はその泉に感激し、「もしも私の人々から離れて隠遁するとしたら、この山道に留まるのだが。〔しかし、神の使徒に許しを請うまでは、実行しないでおこう⁸¹⁾〕」と言った。

彼がそのことを神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——に語ったところ、使徒は次のように言った。

「そのようなことをするな。お前たちの一人が神の道〔のための戦い〕の中に留まることは、その者が家の中で70年間礼拝するよりも徳が高いのだ。神がお前たちをお赦しになり、楽園へ入れてくださることを望まないのか。神の道のために異教徒に対する襲撃に参加せよ。〔19 (203)〕雌ラクダの搾乳と搾乳の合間だけでも神の道のために戦う者には、楽園が約束されるのだぞ⁸²⁾。

ティルミズィーとナサーイー⁸³⁾ がアブー・フライラに依拠して、以下のように伝えている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「殉教者は、お前たちがつねられたときに感じる痛み⁸⁴⁾ほどにしか、殺される痛みを感じないのだ⁸⁵⁾。

また、フライム・ブン・ファーティク⁸⁶⁾ に依拠して、以下のように伝えられている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

81) [] 内は *Tuḥfa/L* および B 写本 [f. 119b]、C 写本 [p. 17] のいずれでも欠落している。ハディース原文から補って訳出した。

82) *Tirmidī*: v. 3, p. 285 (no. 1650).

83) al-Nasā'ī, Ahmad b. 'Alī. ハディース学者。彼が編纂した『スナン』はハディース集「六書」の一つとされる。303 [915/16] 年没 [“al-Nasā'ī, EI 2”]。

84) つねられたときに感じる痛み (alam al-qarṣa) : *Tuḥfa/L* と C 写本 [p. 18] では alam al-qarḥa (腫れ物の痛み) となっているが、B 写本 [f. 120a] およびハディース原文に従って読んだ。

85) *Nasā'ī*: p. 335 (no. 3161) ; *Tirmidī*: v. 3, p. 298 (no. 1668). 後者は *Tuḥfa/L* との語句の相違が目立つ。

86) Ḥuraym b. Fātik al-Asadī. メッカ征服後、他のアサド氏族の者と共に入信した教友。ムアーウィヤ 1 世の治世 (41 – 60 [661 – 680] 年) に没。一説に 48 [668/69] 年没 [*Wāḥī*: v. 13, p. 307]。 *Tuḥfa/L*、B 写本 [f. 120a]、C 写本 [p. 18] のいずれも、この人物のイスマ ḥ.r.'m と綴っているが、ハディース原文に従って修正した。

「神の道のため〔の戦い〕に費用を支出する者は、その700倍がその者のために〔善行として〕記録される」⁸⁷⁾。

イブン・マージャ⁸⁸⁾が、アリー⁸⁹⁾、アブー・アッダルダー⁹⁰⁾、アブー・フライラ、アブー・ウマーマ、アブド・アッラー・ブン・アムル、〔アブド・アッラー・ブン・ウマル〕⁹¹⁾、ジャービル・ブン・アブド・アッラー⁹²⁾、イムラーン・ブン・フサイン——神が彼ら全員に満足せんことを——に依拠して伝えているところによると、彼らは皆、次のように語っている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「神の道のため〔の戦い〕に費用を送ったうえで自宅に留まる者には、1 デイルハムにつき7,000デイルハムが与えられる。自分自身が神の道のために異教徒に対する襲撃に参加したうえで、同様に支出する者には、1 デイルハムにつき700,000デイルハムが与えられる」⁹³⁾。

続いて預言者は「神は望む者に数倍にしてお返しになる。神は広大無限にして全知である」という句〔クルアーン：2章261節〕を朗読した⁹⁴⁾。

アブー・ダーワードが、イブン・アッバース——神が彼ら二人に満足

87) *Nasā'ir*, p. 338 (no. 3186) ; *Tirmidī*: v. 3, p. 267 (no. 1625).

88) Ibn Māǧa, Muḥammad b. Yazīd al-Qazwīnī. ハディース学者。彼が編纂した『スナン』はハディース集「六書」の一つとされる。273 [887] 年没 [“Ibn Mādja,” EI 2]。

89) ‘Alī b. Abī Ṭālib. 第4代正統カリフ。ムハンマドの従兄弟にして娘婿。40 [661] 年没 [“‘Alī b. Abī Ṭālib,” EI 2 ; *Wāfi*: v. 21, pp. 269, 275]。

90) Abū al-Dardā’ ‘Uwaymir/‘Āmir b. Zayd al-Ḥazraǧī. バドルの戦い以降に入信した教友。32 [652/53] 年頃没 [“Abu ‘l-Dardā’,” EI 2]。

91) ‘Abd Allāh b. ‘Umar b. al-Ḥaṭṭāb. 多くのハディースを伝えた教友。第2代正統カリフ＝ウマルの息子。73 [693/94] 年没 [“‘Abd Allāh b. ‘Umar b. al-Khaṭṭāb,” EI 2]。 *Tuḥfa/L* と C 写本 [p. 18] では欠落している。B 写本 [f. 120a] およびハディース原文より補った。

92) Ġābir b. ‘Abd Allāh al-Salamī al-Ḥazraǧī. もっとも早い時期に入信したアンサールの一人。多くのハディースを伝えた。78 [697/98] 年頃没 [“Djābir b. ‘Abd Allāh,” EI 2]。

93) 「 」の部分は、 *Tuḥfa/L* と C 写本 [p. 19] では前半部が大きく欠落しているため、B 写本 [f. 120a] に従った。

94) *Ibn Māǧa*: v. 4, p. 56 (no. 2761).

せんことを——に依拠して伝えているところによると、神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は教友たちに次のように語った。

ウフドの戦いでおまえたちの同胞が倒されたとき、神は彼らの魂を緑の鳥の中に収めた。その鳥たちは樂園の川へ来て、樂園の果実を食べ、玉座の陰に吊り下げられた金製の燭台へ来て休む。彼らは自分たちの食べ物、飲み物、休む場所の良さを知ると、「誰か、我々が樂園で〔神に養われて〕⁹⁵⁾ 生きているということを我々が同胞に伝えないか。〔20 (202)] 彼らがジハード⁹⁶⁾ を拒んだり、戦争に際して尻込みしたり⁹⁷⁾ せぬように」と言った。

すると、誉むべき至高なる神は「私がおまえたちのことを彼らに伝えよう⁹⁸⁾」と言って、「神の道のために〔戦って〕殺された者たちを死んでしまったとはけっして考えるな。いな、彼らは生きているのだ。云々」〔クルアーン：3章169節〕という句を下されたのである⁹⁹⁾。

ハーキム¹⁰⁰⁾ は、アブー・ムーサー・アシュアリーに依拠して、以下のよう伝えている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「樂園は剣の保護の下にある」¹⁰¹⁾。

イブン・マージャは、アナスに依拠して、以下のよう伝えている。

神の使徒——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のよう

95) 神に養われて (nurzaqu) : この部分は *Tuhfa/L* と B 写本 [f. 120a]、C 写本 [p. 19] のいずれでも欠けている。ハディース原文から補った。

96) ジハード (al-ḡihād) : *Tuhfa/L* と B 写本 [f. 120a]、C 写本 [p. 19] ではいずれも al-ḡanna (樂園) となっている。ハディース原文に従って修正した。

97) 尻込みしたり : *Tuhfa/L* と C 写本 [p. 19] では、yatakallamū (彼らが語る) となっている。B 写本 [f. 120b] およびハディース原文に従って yankalū (彼らが尻込みする) と読む。

98) 私が...彼らに伝えよう : *Tuhfa/L* のこの部分は意味不明。B 写本 [f. 120b] と C 写本 [p. 19] では uballīgu-kum (私がおまえたちに伝える) となっていて、やはり文意が取りにくい。ハディース原文に従い、uballīgu-hum (私が彼らに伝える) と読む。

99) *Abū Dā'ūd*: v. 4, p. 174 (no. 2520).

100) al-Hākim, Muḥammad b. 'Abd Allāh al-Naysābūrī. ホラーサーン出身のハディース学者。405 [1014] 年没 ["al-Hākim al-Naysābūrī," EI 2]。

101) *Hākim*: v. 2, p. 80 (no. 2388).

に語った。

「神の道のため〔の戦い〕に夕刻出発した者に対しては、最後の審判の日には、被った土埃の分だけ麝香がもたらされる」¹⁰²⁾。

タバラーニー¹⁰³⁾は『カビール』の中で、イブン・アムル¹⁰⁴⁾に依拠して、以下のように伝えている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「神の道のために〔戦って〕頭を割られた者は、その見返りとして、それ以前に犯した罪が赦されると期待できる」¹⁰⁵⁾。

ワーイラ¹⁰⁶⁾に依拠して、以下のように伝えられている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「私と共に異教徒に対する襲撃に参加しなかった者は、海で襲撃に参加するように」¹⁰⁷⁾。

ダイラミー¹⁰⁸⁾は『ムスナド・アルフィルダウス』の中で、アブー・フライラに依拠して、以下のように伝えている。

預言者——神が彼に祝福と平安を与えんことを——は次のように語った。

「神の道のため〔の戦い〕の1時間は、50回の大巡礼に勝る」¹⁰⁹⁾。

すなわち、1時間のジハードに対する報酬は、50回の大巡礼に対する報酬に勝るのである。その優越性の理由は、ジハードを行う者は、自分

102) *Ibn Māğā*: v. 4, p. 67 (no. 2775).

103) al-Ṭabarānī, Abū al-Qāsim Sulaymān b. Aḥmad. ハディース学者。本文で言及されている『カビール』(*al-Kabīr*)とは*al-Mu‘ğam al-kabīr fī asmā’ al-ṣaḥāba*のことであろう。360 [971]年イスファハーンで没[“al-Ṭabarānī,” EI 2]。

104) Ibn ‘Amr: アブド・アッラー・ブン・アムル(注65)か。*Tuḥfa/L*、B写本 [f. 120b]、C写本 [p. 19]ではいずれもIbn ‘Umarとなっているが、ハディース原文に従って修正した。

105) ‘*Ummāl*: v. 4, p. 121 (no. 10486). *al-Mu‘ğam al-kabīr fī asmā’ al-ṣaḥāba*は未見。

106) Wā’ila. 不詳。

107) *Ṭabarānī/Awsaḥ*: v. 8, p. 186 (no. 8352).

108) al-Daylamī, Abū Ṣuġā’ Širawayh b. Šahmidān. ハディース学者。本文で言及されている『ムスナド・アルフィルダウス』(*Musnad al-firdaws*)とは*Firdaws al-aḥbār*のことであろう。509 [1115]年没 [GAL: v. 1, pp. 419–420, v. Sl, p. 586]。

109) ‘*Ummāl*: v. 4, p. 137 (no. 10687). *Firdaws al-aḥbār*は未見。

自身と自分の財貨をなげうって神のために出陣するが、大巡礼を行う者と違って、彼個人の行いに対する利益を超え〔てイスラーム共同体を益す〕るからである。

文献および略称

『ポルトガル人の状況に関するジハード戦士の贈り物』 テキスト・翻訳
 〈写本〉

Ms. 2799. British Library. (India Office旧蔵 Loth 1877: no. 714) [ms. A (A
 写本)]

Ms. 2807. British Library. (India Office旧蔵 Loth 1877: no. 1044-V) [ms.
 B (B写本)]

Ms. Arabic 28. Royal Asiatic Society of Great Britain and Ireland. (Morley
 1854: no. IV) [ms. C (C写本)]

Ms. Add. 22375. British Library (British Museum旧蔵 Cureton 1846-71:
 no. 945) [ms. D (D写本)]

〈刊本〉

Historia dos Portugueses no Malabar por Zinadim. Ed. and trans. David
 Lopes. Lisboa: Imprensa Nacional, 1898. [*Tuhfa/L*]

Tuhfat al-muġāhidīn fī ba'd aḥbār al-Purtukāliyyīn. Ed. al-Ḥakīm al-Sayyid
 Šams Allāh al-Qādirī. Ḥaydarābād: Maṭba' al-Tārīḥ, [1931]. [*Tuhfa/Q*]

Tuhfat al-muġāhidīn fī aḥwāl al-Burtuġāliyyīn. Ed. Muḥammad al-Sa'īd al-
 Tārīḥī. Bayrūt: Mu'assasat al-Wafā', 1985. [*Tuhfa/T*]

〈翻訳〉

谷口淳一「ザイン・アッディーン・マアバリー・マリーバーリー著『ポルト
 ガル人の状況に関するジハード戦士の贈り物』 訳注（1）」『京都女子大
 学大学院文学研究科研究紀要史学編』15号（2016年）：87-97頁。[ジハ
 ード戦士の贈り物（1）]

Historia dos Portugueses no Malabar por Zinadim. Ed. and trans. David
 Lopes. Lisboa: Imprensa Nacional, 1898. [*Tuhfa_trans/L*]

Tuhfat-al-mujāhidīn: an Historical Work in the Arabic Language. Trans. S.
 Muhammad Husayn Nainar. Madras: University of Madras, 1942.
 [*Tuhfa_trans/N1*]

Tuhfat al-mujāhidīn: a Historical Epic of the Sixteenth Century. Trans. S.
 Muhammad Husayn Nainar. [Eds. P. K. Koya Kutty and A. I.
 Vilayathullah] Kuala Lumpur: Islamic Book Trust, 2006. [*Tuhfa_trans/
 N2*]

辞典・目録類

- 大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002年。[岩波イスラーム辞典]
- Brockelmann, Carl. *Geschichte der arabischen Litteratur*. 5 vols. Leiden: Brill, 1937–1949. [GAL]
- Cureton, William, and Charles Rieu. *Catalogus codicum manuseriptorum orientalium qui in Museo Britannico asservantur*. Pars 2. Londini: Impensis Curatorum Musei Britannici, 1846–71. 3 vols in 1 vol. Hildesheim: Georg Olms, 1998. [Cureton 1846–71]
- Gibb, Hamilton Alexander Rosskeen, et al., eds. *The Encyclopaedia of Islam*. New edition. 12vols. and index volume. Leiden: Brill, 1960–2009. [EI 2]
- Juynboll, Gautier H. A. *Encyclopedia of Canonical Ḥadīth*. Leiden and Boston: Brill, 2007. [ECH]
- Loth, Otto. *A Catalogue of the Arabic Manuscripts in the Library of the India Office*. London, 1877. [Loth 1877]
- Morley, William Hook. *A Descriptive Catalogue of the Historical Manuscripts in the Arabic and Persian Languages, Preserved in the Library of the Royal Asiatic Society of Great Britain and Ireland*. London, 1854. [Morley 1854]

史料・史料訳注

- 『コーラン』井筒俊彦訳、改版、全3冊、岩波書店〈岩波文庫〉、1964年。
- 『コーラン』藤本勝次他訳、全2冊、中央公論新社〈中公クラシックス〉、2002年。
- 『日亜対訳・注解 聖クルアーン』[三田了一訳]、改訂版、日本ムスリム協会、1982年。
- [ブハーリー]『ハディースーイスラーム伝承集成一』牧野信也訳、全3巻、中央公論社、1993–1994年。[ブハーリー]
- アル＝マーワルディー『統治の諸規則』湯川武訳、慶應義塾大学出版会、2006年。[統治の諸規則]
- [ムスリム・ブン・アルハッジャージュ]『日訳サヒーフ ムスリム』磯崎定基他訳、全3巻、日本ムスリム協会、1987–1989年。[ムスリム]
- Abū Dā'ūd Sulaymān b. Aṣ'at al-Siġistānī. *Sunan Abī Dā'ūd*. Eds. Šu'ayb al-Arnā'ūt et al. 7 vols. Bayrūt: Dār al-Risāla al-Ālamīya, 2009. [Abū

Dā'ūd]

al-Buḥārī, Muḥammad b. Ismā'īl. *Ṣaḥīḥ al-Buḥārī*. Ed. Qāsim al-Šammā'ī al-Rifā'ī. 9 vols. Bayrūt: Dār al-Qalam, 1987. [*Buḥārī*]

al-Ḥākīm, Muḥammad b. 'Abd Allāh al-Naysābūrī. *al-Mustadrak 'alā al-Ṣaḥīḥayn*. Ed. Muṣṭafā 'Abd al-Qādir 'Aṭā. 5 vols. Bayrūt: Dār al-Kutub al-'Ilmīya, 2002. [*Ḥākīm*]

Ibn Māḡa, Muḥammad b. Yazīd al-Qazwīnī. *al-Sunan*. Eds. Šu'ayb al-Arnā'ūt et al. 5 vols. Dimašq: Dār al-Risāla al-'Ālamīya, 2009. [*Ibn Māḡa*]

Muslim b. al-Ḥaḡḡāḡ al-Quṣayrī. *Ṣaḥīḥ Muslim*. Ed. Muḥammad Fu'ād 'Abd al-Bāqī. 5 vols. [al-Qāhira] : Dār Iḥyā' al-Kutub al-'Arabīya, [1954?]. [*Muslim*]

al-Muttaqī, 'Alā' al-Dīn 'Alī b. 'Abd al-Malik al-Hindī. *Kanz al-'ummāl fī sunan al-aqwāl wa al-af'āl*. Ed. Maḥmūd 'Umar al-Dimyā'ī. 16 vols. and 2 index volumes. Bayrūt: Dār al-Kutub al-'Ilmīya, 2004. [*'Ummāl*]

al-Nasā'ī, Aḥmad b. 'Alī. *Sunan al-Nasā'ī*. Ed. anon. al-Riyāḍ: Bayt al-Afkār al-Duwalīya, 2013. [*Nasā'ī*]

al-Šafādī, Šalāḥ al-Dīn Ḥalīl b. Aybak. *al-Wāfi bi-al-wafayāt*. Eds. Helmut Ritter et al. 32vols. Wiesbaden: F. Steiner, et al., 1931 – 2013. [*Wāfi*]

al-Ṭabarānī, Sulaymān b. Aḥmad. *al-Mu'ḡam al-awsaṭ*. Eds. Ṭāriq b. 'Iwād Allāh and Muḥsin al-Ḥusaynī. 10vols. al-Qāhira: Dār al-Ḥaramayn, 1995. [*Ṭabarānī/Awsaṭ*]

al-Tirmidī, Muḥammad b. 'Īsā. *al-Ġāmi' al-kabīr (Sunan al-Tirmidī)*. Ed. Baššār 'Awwād Ma'rūf. 6 vols. Bayrūt: Dār al-Ġarb al-Islāmī, 1996. [*Tirmidī*]

研 究

谷口淳一「中世南インドのムスリム知識人——ザイン・アッディーン・マァバリー著『ポルトガル人の諸情報におけるジハード戦士の贈り物』に関する覚え書き——」森部豊・橋寺知子 編著『アジアにおける文化システムの展開と交流』関西大学出版部、2012年、231 – 243頁。[谷口2012]